

法政大学大原社会問題研究所

所 報

(2024.2.1 ~ 2.29)

□刊行物

『大原社会問題研究所雑誌』785号 (2024年3月)

□図書受入

	和 書	洋 書	計
購 入	41	0	41
受 贈	27	0	27
合 計	68	0	68

□閲覧サービス

閲覧

開館日数	19日
閲覧者数	18名
貸出図書	18冊

コピーサービス

学外	11件	1,472枚
学内	2件	31枚

日 誌

- 4日 「SDGs推進体制下の人類社会におけるベーシックインカム運動の現状と課題」共同研究プロジェクト
山崎圭一（横浜国立大学大学院国際社会科学研究院教授）「ブラジルにおけるBIについて——土地所有権問題との関連性に触れつつ」
- 6日 『日本労働年鑑』編集会議
- 7日 所員会議
事務会議
次年度兼任研究員採用面接
- 13日 『日本労働年鑑』編集会議
- 19日 「SDGs推進体制下の人類社会におけるベーシックインカム運動の現状と課題」共同研究プロジェクト
河村有介（神戸大学大学院国際協力研究科准教授）「エジプトの社会保障とベーシック・インカム——なぜベーシック・インカム運動は盛り上がらないのか？」
- 20日 HOSEI ミュージアム紀要編集委員会

21日 運営委員会

- ①次年度の兼任研究員の承認
- ②次年度の客員研究員の承認
- ③次年度の嘱託研究員の承認
- ④研究補助員の承認

研究員総会（於：多摩キャンパス総合棟，参加者：33名）

公開講演会（於：多摩キャンパス総合棟，参加者：32名）

大澤優真（一般社団法人つくろい東京ファンド及びNPO法人北関東医療相談会スタッフ）「困窮外国人支援の現在——難民・仮放免状態にある人たちを中心に」

26日 環境・市民活動アーカイブズ資料整理研究会

宇野淳子（アーキビスト）「1970年代東京都公害問題対策資料の概要と公開の意義——資料整理担当者の立場から」、大門信也（関西大学社会学部教授）「環境資料における公的文書との向き合い方——行政・市民社会の応答関係を模索する環境社会学の立場から」

27日 『日本労働年鑑』編集会議

平塚らいてう資料研究会

山中仁吉（北海道大学法学研究科院生）「戦前日本における女性参政権運動の対議会戦略——新婦人協会再考」

28日 大原社会政策研究会（115回）

栗原耕平（専修大学大学院経済学研究科博士課程）「イギリス産業別労使関係史論」

大原社会問題研究所雑誌

No.788 (2024年6月号)

2024年6月1日発行

定価1,100円（本体1,000円＋税10%）

年間購読13,200円（税込）

編集（兼）発行人 法政大学大原社会問題研究所

編集長／所長 榎 一江

〒194-0298 東京都町田市相原町4342

電話042(783)2305

印刷 株式会社相模プリント